

表紙・絵



冷たい風に頬を
平手打ちされるよ
うな冬の夜道。ふと、
さみしい気持ちに
なってしまう時に、
月明かりが、真つ
黒だった夜をふわ
っと照らし出し、暗く沈んだ心をもやさ
しく照らし出してくれます。月に照らさ
れた丘上の鉄塔も、赤い目玉をまばた
きさせて見守ってくれています。日常の
風景を、ちよつとの想像を加えて見てみ
ると心がほくほくとちよつと暖まります。

(文学部1年 小谷野牧子 II 美術倶楽部 (CATS))